

くまがや自治連だより

ひろば

第5号

平成21年3月発行

特例市に向けて

副会長 富田辰之助

会員の皆様には平成二十一年のさわやかな春を迎え、心新たに地域の発展、向上を念願された事と御推察いたします。

熊谷市も四月一日より、県内六番目の特例市に移行する事となりました。私達自治会連合会も自治組織の一員として積極的に市政に協力し、官民協働して二十万都市熊谷の発展向上に寄与しなくてはなりません。

自治会連合会も合併により二八八人の会長を抱える大所帯となり、今後の活動を考慮しなければなりません。各単位自治会は、地域の中心となり、自主防犯・防災会、小学校区連絡会、環境保全運動団体、長寿クラブ、PTA、公民館等多くの団体との横の連携を密にして、地域の人々が明るく住み良い、安心して生活出来るまちづくりに努力しなければなりません。

会員の皆様には、各地域の自治会活動に尚一層の御協力、御支援を賜りますようお願いいたします。

◆石原三丁目第三自治会◆

会長 松本典雄

わが自治会は、石原連合自治会傘下七自治会の一つで、位置は石原小学校の東、熊谷地方気象台の西、旧埼玉県蚕業試験場の跡地を区域に持ち、近くには大原中、県立熊谷高校、県立熊谷農業高校、更に公立保育所も近接する文教地区で、戸数は八十五戸(うち高齢者世帯十二戸)を有し、古くからの静かな住宅地であります。往時は、花形産業であった蚕糸業の発展の元締めであった試験場は「原蚕種」と称され、辺りは桑畑があつて蚕が繭をつくる過程から発する異臭が懐かしく思い出されます。また、地域からは片倉製糸工業の細くて長い煙突が真近に見え、その姿は童歌にもなっていました。今は、その衰退と高齢化により、なごり層静かな環境となりましたが、幸い小中学校の通学路に当たりますので、朝夕は、にぎやかな子ども達の声が何よりの救いとなっております。

防犯パトロール

自治会では、町内の安全な生活は何よりも身近な自分たちで確保することの方が大事だろとの思いから、市や警察の防犯パトロール活動の推奨にいち早く賛同し、パトロール隊を組織しました。人員は五人で、毎月第



防犯パトロール隊

二と第四の木曜日の夜間に実施しています。時間は季節・日没により異なりますが、夕刻の落ち着いた時間帯に二時間くらい町内を巡回します。服装は超一人前で、市から貸与された蛍光付きのチョッキ、腕章、目立ち帽子、赤色警告棒を所持します。

活動の主な注意点は、街路灯の管理、火の元、異物の発見、空き地の状況、青少年との会話などですが、通りすがりや町内の人々との声掛けも大事です。

リサイクル活動

今日ほど、資源の再利用、エコ活動が声高に叫ばれている状況を、市民として見過ごすことはできません。「捨ればゴミ、生かせば資源」これを実行するのがリサイクル活動です。

自治会では、偶数月の第一土曜日(年六回)にリサイクル活動を実施しています。集積物は新聞紙、アルミ缶、段ボール、雑誌類、牛乳パックが主な物です。実施日の一週間前、各戸へ回覧板により定刻までに所定の集積所へ出すよう周知します。その後、役員が業者の協力を得て整理しています。

自治会親睦旅行

当自治会では、毎年秋の日曜日に、親睦旅行を実施しています。これは会員相互の親睦を図り、健康増進のための事業で、本年度は袋田の滝・大吊り橋へ行ってきました。九月に行き先を知らせ、十月に募集します。参加者は町内の老若男女、子ども四十人ほどの参加を得て、町内の旅行業者の協力によりバスを仕立てて行っています。特に、高齢者と子どもとの参加が多いのは、町内の特徴だったのと同じだからという安心感があるのでは

と想っています。

普段は、顔は合わぬもの、挨拶程度しか言葉交わさない間柄ですが、文字どおり日帰り旅行は親睦が図れます。



霜神大吊橋
石原三丁目自治会
2008.10.19

子ども達を見守る活動



感謝のふれあい給食

区内には、交通の激しい北大通りや幹線市道が通過しており、小中学校が隣接しています。このため、子ども達の安全な通学を確保するため、朝は父兄が交通の要所に立ち、運転者には安全運転を促し、集団登校する子ども達に声を掛ける立哨指導を行っています。また、下校時には、地域連絡協議会に組織された町内ボランティア有志による立哨により、安全な下校指導が行われています。この活動は、朝夕指導者と子ども達が声と目線を合わせながら挨拶の習慣や規律を覚え、毎日の生き生きとした生活を営む源となっております。

◇京成熊谷上之自治会◇

会長 山口 竹市

わが自治会は、熊谷市上之二一〇〇番地六〜一九八に昭和五十七年に創立、成田西部自治会連合会に所属。埼玉国体主会場となった熊谷スポーツ文化公園に近い十七号バイパス沿いに位置し、面積三二・二八・四三㎡に、自治会館、三児童公園(面積一・八二㎡、一九二区画、一七二世帯、十八班編成の地域です。多くの人がスポーツ文化公園を有効に活用し、恵まれた環境にあります。自治会名に京成が冠されているのは、京成不動産が開発した宅地造成故。熊谷市では希有な建築基準法第七十三条第一項の規定による、熊谷上之建築協定(埼玉県知事認可)地域です。

協定の主な内容

協定は第一条目的から第十二条補則(一)建物の用途は一戸建住宅であること。



定例総会

- (一)階数は地階をとする。二階以下とすること。
 - (二)階高は地階をのりからの高さは九m、軒の高さは六・五mをそれぞれ超えないこと。
 - (三)地盤面からの高さは九m、軒の高さは六・五mをそれぞれ超えないこと。
- 等を定めています。有効期間、十年間(自動更新を含めて二十年間)、二十年経過

後は、新規手続きが必要ですよ。

自治会の運営

初年度四月第三日曜日を定例総会日と定め、役員体制、事業計画、予算(案)等について提案し、承認を得る。総会は代議員制ではなく、全会員に通知します。出席者は二〇〇〜一三〇名程度。

活動内容の狙い

- (一)会員相互のふれあいを親睦交流
- (二)安心安全な住みよい地域づくり
- (三)夏まつり



夏まつり

七月、子供会と共催で実行委員会を組織し、自治会館を会場に実施。子ども連は手造り神輿を法被姿で担ぎ地域内を巡り、貴重な経験に汗し、スイカ割り、ゲームに歓声をあげています。自治会は、バザー、焼そば店、ピアガーデン、日本舞踊、フオークダンス、カラオケ、抽選会で盛りあげ、交流を図っています。昨年は七味唐辛子づくりコーナーを設け、全売上金を若手宮城地震救援基金に、読売新聞社を通じて寄附しました。会場狭しと出品した趣味の作品展も年々充実しています。

②防災防犯への取組み

市政宅配講座(防災対策と心構え、AED(自動体外式除細動器)講習会(中央消防署)を開催し、地域の特性に合った自主防災会の環境づくりを準備中です。成田小スクールガード(S・G)六名登録。象徴のオレンジ帽子を着用し、登下校の交通事故、犯罪に遭遇しないよう児童を見守ります。

③清掃活動

(ゴミゼロ)自治会規約で毎月第三日曜日を定例清掃日と定め、三児童公園、自治会館の除草清掃を実施しています。



清掃活動

④コミュニティ活動

成田西部自治会連合会、成田公民館、成田小学校区連絡会、敬老会、地区大運動会、あいさつ運動、S・G一斉活動日(年三回)参加。

⑤その他

恒例日帰りバス旅行(秋)、おやじ会、子供会共催の餅つき大会(暮)等。

⑥自治会だより発行

自治会運営方針、連絡事項、各事業を網羅した記事の掲載、絵手紙、紙面を交流の場としての「ひろば(内容自由、転入出情報、訃報等、情報の共有化をはかっています。毎月発行し、全会員に配布、第九十六号を数えました。これは自治会の宝であり、財産であり自慢であります。更なる充実がスタッフが意欲的です。わが自治会に紹介の機会を与えられた事に深甚の謝意を表します。

◇大麻生自治会連合会◇

連合会長 萩野 滋 治

大麻生自治会連合会は十の自治会で構成され、会員は一、六五〇人(平成十九年度末)で、熊谷工業団地(三尻)の南東部に位置しています。これからご案内する内容は、このうち三自治会の活動についてです。

西川原自治会・中郷自治会・武体自治会(四三〇会員)は隣接しており、その中心地区である西川原に大榮神社が鎮座しています。この三地区のほとんどの方が、大榮神社の氏子になっています。また、この三地区の自治会は、協同していろいろな地区の活動を行っています。特に古くからは大榮自警消防団(団員二十人前後)が、そして最近では県・市の指導をいただいで、平成十六年八月に結成された大榮自主防災会(三地区区住民で構成、その中心には自警消防団員を配属)が現在活動中



大榮神社

です。更に会則(五)に防犯に関することを加えて活動の充実を努めています。この地域一帯は、古くから農業(米麦、養蚕)による収入の依存度が高いため、近年は次第に高齢化が進むとともに、若年層



大榮自警消防団

の地元への定住が減り、地域の人口減少による住環境と自然環境の悪化が進んできました。そこで三自治会では、平成十九年度事業で、公益信託 熊谷環境基金の助成をいただき、自然環境の保全を目的とする活動テーマ「地域環境に

貢献している当地区鎮守の社(大榮神社)の樹木育成管理を強化し、更に樹苗を補植し樹木を繁茂させて、自然環境の良化を進めたい。一年目の事業を終了しました。活動の実施内容では、平成十九年七月〜八月に集中的に作業を実施、だいたい計画どおり終了できました。特に大木の剪定工事は、倒木を防ぎ、目的どおりの成果をあげることが出来ました。本年は、二年目として引き続き認可をいただき、事業実施中であります。前年同様、よく見られる大木の枯枝を切除し、樹勢を繁茂させて地域の自然環境に積極的に努め、併せて地域住民の健康増進を進めて行きたいと思っております。



剪定施工

大榮神社

当社は、大正二年、五社稲荷神社に八荒神社・天神社・駒形神社・浅間神社の五社を合祀し、大

榮神社と改称されました。合祀の中心となった五社稲荷神社は、大麻生村上郷の鎮守であった。年間の祭事のため七月二十日、二十一日に行われるお獅子様は、村の悪魔祓いの行事であります。駒西町の玉敷神社からお獅子様と称する節にはいった「こ神体」を借りてきて氏子の家々を載うものである。

(編集発行者 室田好男『ぶらっくとくまがや神のまち』より一部引用させていただきました)

編集後記

熊谷市は、妻沼町、大里町、江南町と合併して、人口約二十万人となり、早くも二ヶ年が経過しようとしています。連合会加入の単位自治会も、三六六に増大しました。これらの自治会の、いろいろな特色ある活動が「ひろば」を通して、伝わってまいります。これらは地域の文化と言っても過言ではありません。その文化を大切に、私達の生活する地域をより良くするために、自治会活動を推進することが必要であります。そして、この大切な地域の文化を若い人達にも、受け継いでいって貰いたいと思います。

この度、各自治会で、ご活躍の方々の寄稿を頂き感謝すると同時に、厚くお礼申し上げます。また各自治会のみますの、ご発展をお祈りいたします。

副会長 山口良之

計報

- お飾りやお祈り申し上げますと共に、ご返報をお祈り申し上げます。
- ◆福田 金作さん 平成二十年九月三十日 逝去
- ◆小八 自衛隊長 平成二十年十月三十日 逝去
- ◆菊地 太郎さん 平成二十年十月三十日 逝去
- ◆北郷 自衛隊長